

私立大学図書館協会

書誌作成分科会のあゆみ

深井人詩

情報化時代の今日、優れた書誌を作成して学術研究に役立てたいと、昭和45年の秋、私立大学図書館の有志によって書誌を研究する会が発足した。私立大学図書館協会に属する、この種の会は、現在11研究分科会と2研修分科会があり、分類・目録・目録編成・レファレンス・書誌学・逐次刊行物などの会は、昭和30年に発足し、すでに100回以上の研究会を開いて来ている。そのなかでは新しいこの書誌作成分科会は、毎月最終金曜日の午後開かれている。約30人の会員が当番校に集り、あらかじめ決められていた発題者が、書誌に関する研究を発表し、質疑応答や意見交換があって、そのあと会場校の図書館の書誌コーナーを見学するのを例として。他の分科会とことなる特色は、会員の大半が各館の中堅男子司書であること。私大図書館館員が中心でありながら、国公立の大学・公共図書館の書誌研究・書誌作成に関心のある館員を多数準会員として迎え、通信会員として地方の人とも随時連絡をとっていることであろう。

最近までの発題と発表者（その所属）発表年月と会場校を次に示す。

私の書誌作成過程とその分析—「福沢諭吉とその門下書誌」丸山信（慶応）昭和46年1月東経大。書誌作成上よりみ

た文献の単位 深井人詩（早稲田）3月東経大。「地方誌文献目録」の作成過程阿津坂林太郎（横浜市立）・村田基宏（東洋）3月中央大。国立国会図書館の雑誌記事索引—人文社会編を中心に 稲村徹元（国会）5月東京電機大。「本邦水道史関係文献目録」を編集するに当って 武内博（東京学芸）。日本文学作家作品研究のための文献目録作成について—野上弥生子参考文献目録の実例 田沢恭二（東京学芸）6月慶大。Harvard大学Kress Libraryとその目録について 岡崎義富（一橋）7月東経大。書誌作成法私案 丸山信（慶応）9月独協大。個人書誌の作成について—Basill Hall Chamberlain 書誌 木村寿子（早稲田）10月聖心女子大。書誌作成をめぐる諸問題 多田・丸山・阿津坂・深井（パネル）12月早大。出版学文献目録について 大久保久雄（神奈川）昭和47年1月東洋大。12月と同じパネルを稲村徹元（国会）を加えて討論（私大図協研究部会席上）2月東洋大。昭和46年主要書誌の比較分析—「大平洋戦史文献解題」をめぐる 深井人詩（早稲田）5月麗沢大。

会の代表である世話人は、当初から多田二郎（東京経済大学図書館副館長）、事務連絡と毎回会員に配布している「書誌メモ」の編集は伊佐公行（実践女子大学図書館409—0054 内線56）が担当している。「書誌メモ」の内容は、発題のレジメなどである。入会その他についての問い合わせは伊佐公行まで御連絡下さい。

（ふかい・ひとし：早稲田大学図書館司書）